



第21回

北九州市障害福祉団体連絡協議会

定期総会開催

「福祉六月二日（土）十時から、ウエルとばた六階六A・B会議室で北九州市障害福祉団体連絡協議会（以下障団連）の第二十一回定期総会が行われました。山田・高原・貞谷が参加しました。」



北九州市障害福祉団体
連絡協議会
北原 守会長

初めに、障団連の中島和子事務局次長から開会宣言がありました。

体制を一新して

スタートを切る

続いて、障団連の北原守会長から「今年は、障団連が初めて二十年目になり、新しいスタートが迎えられたと思っています。

共生社会の実現とは、主体性を持つことが、障害当事者団体の役目であり、使命だと思います。

また、共生社会を作つていくことを大きな目標として、今後新しいスローガンを皆で考え、これからも頑張つて活動を続けていこうと思っています。

そして、障団連としても総会を機に体制を一新して、スタートをしたいと思っています。

議長に、福岡県難病団体連絡協議会北九州市支部の岡俊一氏が選任され、承認されました。

議事録署名人に、老いを支える北九州家族の会の久保哲夫氏とNPO法人列島会の伯井裕氏が選任され、承認されました。

障団連事務局より、加盟団体数四十一団体、出席団体数二十八団体、委任団体数十一団体でこの総会は成立了との、報告がありました。

最後に、新三役の紹介がありました。

新会長にNPO法人北九州自立生活センター代表の

会員の皆様の声に寄り添いながら活動をしていく

その後、審議に入り、平成二十九年度事業報告及び決算報告、会計監査報告がありました。

次に、平成三十年度事業計画及び收支予算（案）、役員改選が提案され、満場一致をもって承認されました。

今年度から新三役は



北九州市障害福祉団体
連絡協議会
林 芳江新会長

女性幹事でスタート
の山田理事長が就任しました。
事務局長には、会長の推薦により（公社）北九州市障害福祉ボランティア協会の常務理事の古賀由美子氏が就任されました。

総会は十二時三十分に閉会しました。

障団連の発展に向けて皆様と一緒に頑張つていきたいと思います」と挨拶がありました。

伊野副会長は「いろいろなことを学びながら、副会長として会長を支えていきたいと思います」と挨拶がありました。



北橋 健治
北九州市長

各団体のご活躍をお祈りいたしております」と挨拶がありました。

次に、木下副議長は「障

団連におかれましては、議

会との連携を深めながら、

安心して生活ができるよう

な共生社会の実現を目指して

研修会や啓発活動の実施など

幅広く活動をされておられ

ます。

また、障害のある方の社

会参加や障害福祉の充実に

向けたご尽力に対しまして、

深く敬意を表したいと思つ

ています」と挨拶がありました。

また、顧問として前会長の障害者の国際交流を支援する会の北原守氏が就任されました。

林会長は「会員の皆様の声に寄り添いながら活動をしていきたいので、皆様のお力添えをよろしくお願ひします」と挨拶がありました。

山田副会長は「これからも共生社会の実現や新しい障団連の発展に向けて皆様と一緒に頑張つていきたいと思います」と挨拶がありました。

